

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成	担当	課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	介護予防の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	65歳からのプラチナ世代元気応援事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者のフレイル予防のために、瓦町FLAGにおいて実施している貯筋運動教室について、より多くの方が参加できる環境を整えるため、地域の身近な場所でその開催をする団体に対し、開催に要する費用の一部を助成して支援する。				
年度概要	貯筋運動を普及するための教室の開設及び運営を行う団体等への支援				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

【事業の目的】

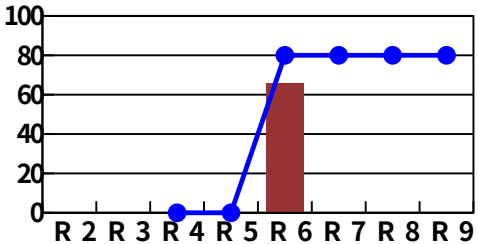
対象（何を）	65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者が自主的に介護予防に取り組むことができるようになる。また、自宅にいても孤立することなく、介護予防に取り組むことができる。

【事業の活動】

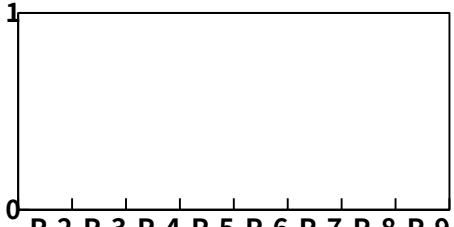
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	貯筋運動教室新規開設数	箇所	0	0	3	10	10
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
教室参加前後で、下肢筋力が改善した者の割合	%	目標値		0	0	80	80	80
		実績値		0	0	65.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
目標値には届かなかったものの、貯筋運動教室で立ち座りや歩くといった日常の基本動作に必要な下半身の筋肉の運動を継続的に行った結果、参加者の6割以上で下肢筋力が改善した。		(目標達成度)		82.0%				
		(得点)		29点				

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値						
		実績値						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	11,135	9,539	9,328	11,701	
	(事業費)	[千円]	3,651	2,012	1,608	3,981
	(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	貯筋運動を普及するための教室の開設及び運営を行う団体等への支援	貯筋運動普及事業補助金 1,260千円 その他 349千円	総額	1,608	
			特定財源	国	1,608
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度	貯筋運動を普及するための教室の開設及び運営を行う団体等への支援	貯筋運動普及事業補助金 3,830千円 その他 151千円	総額	3,981	
			特定財源	国	3,981
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
貯筋運動教室新規開設数が3箇所であったため、事業について広く情報発信し、認知度を向上させる必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
ホームページや広報高松による情報発信のみならず、介護予防に関心を持つ事業者に対して、事業を積極的に周知し、貯筋運動教室新規開設数の増加を図る。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	介護予防の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	介護予防推進等事業			

【事業全体概要】

事業概要	健康寿命の延伸を図るため、介護予防教室・講座を開催する。また、地域で健康づくりや介護予防の自主的な活動の定着を図るため、介護予防ボランティア「元気を広げる人」などを養成し、介護予防の取組を広げる。				
年度概要	介護予防教室・講座の開催、「元気を広げる人」養成講座の開催等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

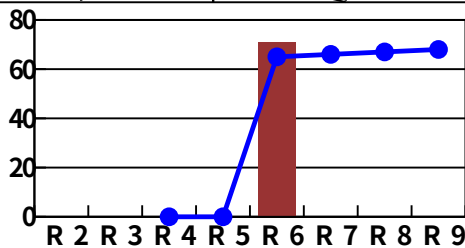
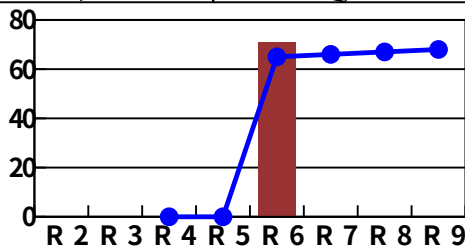
【事業の目的】

対象（何を）	一般介護予防事業対象者
意図（どのような状態にしたいか）	身近な場所で介護予防教室・講座を開催することにより、高齢者が自主的に介護予防に取り組めるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	元気アップ教室参加者数	人	0	0	350	380	420
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	教室参加者のうち週に1回以上運動をしている者の割合			%	目標値	0	0	65	66	67	
					実績値	0	0	71.1			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
	元気アップ教室に参加することにより、参加前と比較して継続的に運動している者が増加し、目標を達成することができた。										
(目標達成度) 109.4%											
						(得点) 35点					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
					目標値						
					実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
(目標達成度)											
						(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	43,173	36,722	34,392	38,048
(事業費)	[千円]	16,979	17,904	34,392	38,048
(職員人件費)	[千円]	26,194	18,818	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	介護予防教室・講座の開催、「元気を広げる人」養成講座の開催等	介護予防把握事業費 6, 295千円 介護予防普及啓発事業費 23, 301千円 地域介護予防活動支援事業費 263千円 地域リハビリテーション活動 支援事業費 0千円 一般介護予防事業評価事業費 4, 533千円	総額	34,392	
			特定財源	国	8,662
				県	4,297
				市債	0
				他	17,125
			一般財源	4,308	
			令和 7 年度	介護予防教室・講座の開催、「元気を広げる人」養成講座の開催等	介護予防把握事業費 6, 526千円 地域介護予防活動支援事業費 433千円 介護予防普及啓発事業費 25, 864千円 地域リハビリテーション活動 支援事業費177千円 一般介護予防事業評価事業費 5, 048千円
特定財源	国	9,426			
	県	4,755			
	市債	0			
	他	19,108			
一般財源	4,759				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

成果指標の実績値が目標値を上回っており、介護予防の取組に効果を上げているが、引き続き、参加者の増加を図り、高齢者の健康寿命の延伸を図る必要がある。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高齢者居場所づくり事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせる環境を整備するため、高齢者が気軽に集い、介護予防や健康づくりのほか、子どもたちを交えた世代間交流ができる居場所づくりを支援する。				
年度概要	高齢者の居場所に対する運営支援				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-⑧	関連根拠法令	介護保険法、老人福祉法、社会福祉法

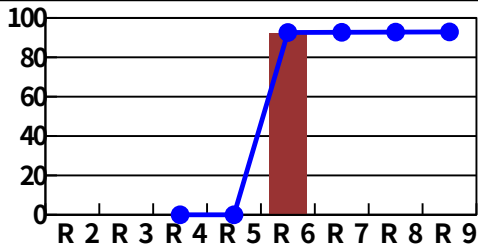
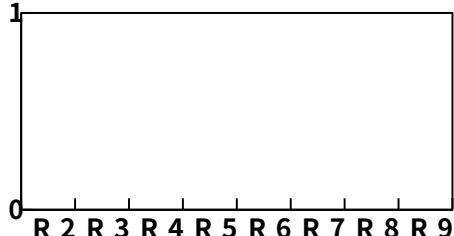
【事業の目的】

対象（何を）	おおむね65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者が心身機能の衰えに伴い閉じこもりがちとなり、社会との接点をなくして孤立することなどを防ぐため、高齢者等が気軽に集える居場所の開設・運営を行う個人又は団体に助成金を交付することにより、高齢者の介護予防と健康増進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 高齢者居場所数		箇所	0	0	185	220	230
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
	主観的健康感の維持向上率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	92.6 92.3	92.7	92.8
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	医師・歯科医師、医療系大学等の学生、民間事業者などが居場所に出向いて健康教育を実施した結果、ほぼ目標を達成することができた。	(目標達成度)		99.7%				
		(得点)		35点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	在宅医療・介護連携推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	医療と介護の両方を必要とする高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅医療従事者等で構成する在宅医療介護連携推進会議を開催し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、情報の共有と連携の強化に向けた地域の実情に応じたネットワークづくりを推進する。				
年度概要	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案（計画） (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者や地域住民に対する対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-⑥	関連根拠法令	介護保険法

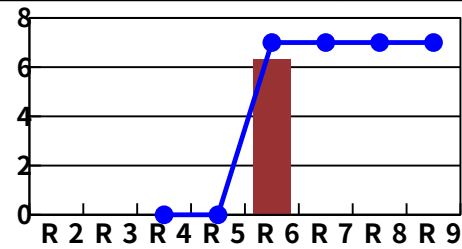
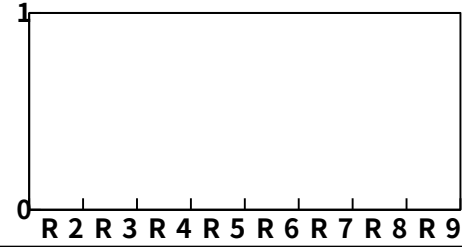
【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	医療と介護が連携することで、安心して在宅で生活できる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標R8
① 在宅医療介護連携推進会議の開催数	回	0	0	6	6	6
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標R8
	多職種連携構築度評価平均得点	点	目標値 実績値	0 0	0 0	7 6.3	7	7
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	情報共有や交流が出来る機会を創出するため医療や介護等、多職種の専門職が参加する研修会等を開催したが、参加者によるアンケート結果において、多職種連携構築度の評価平均点は6.3となり、目標を達成することができなかった。			(目標達成度) 90.0%				
				(得点) 32点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標R8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	21,651	30,687	33,058	33,104
	(事業費)	11,398	12,848	14,762	14,808
	(職員人件費)	10,253	17,839	18,296	18,296

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案(計画) (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者や地域住民に対する対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施	委託料 7,623千円 在宅医療支援センター運営費 7,139千円	総額	14,762	
			特定財源	国	5,683
				県	2,842
				市債	0
				他	3,395
			一般財源	2,842	
令和 7 年度	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案(計画) (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者や地域住民に対する対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施	委託料 7,374千円 在宅医療支援センター運営費 7,434千円	総額	14,808	
			特定財源	国	5,701
				県	2,850
				市債	0
				他	3,407
			一般財源	2,850	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
介護保険法に基づいて、地域包括ケアシステムの実現に向け、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築のため、P D C A サイクルに沿った取組を推進していくに当たり、在宅医療コーディネーターの効果的な活用や将来的な I C T の活用のための情報収集など、国や県等の動向を窺いながら検討を行う必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、在宅医療・介護連携推進事業は重要な施策の一つであり、在宅医療サービスと介護サービスを一体的に提供するための、さらなる連携体制が必要である。						
このため、高松市在宅医療介護連携推進会議において課題を検討しながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを推進する研修会の開催や、現場で活動する在宅医療コーディネーターの質を確保するための方策を実施するなど、引き続き在宅医療・介護連携推進事業に取り組む。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高齢者見守り事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な訪問・配食サービスによる安否確認や、日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設などを行う。また、認知症等行方不明高齢者等の早期発見につなげるため、警察や民生委員等で構成する高松市認知症等行方不明高齢者保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により、関係機関や捜索協力員への迅速な情報提供を行う。				
年度概要	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】GPSを普及し電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-⑦	関連根拠法令	老人福祉法 介護保険法

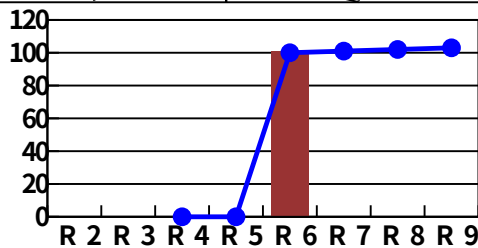
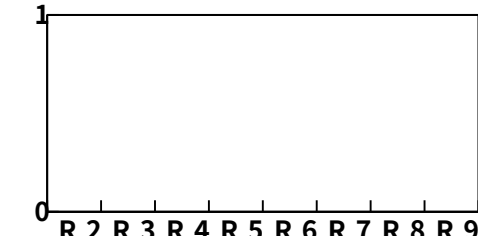
【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の在宅における日常生活を支援するとともに、事故の未然防止や早期対応を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 見守り協定に基づく通報件数	件	0	0	72	65	70
② 配食見守り事業利用者数	人	0	0	1,015	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	見守り協定締結事業者数		事業者	目標値	0	0	100	101	102	
				実績値	0	0	101			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	協定事業者数は、事業者の理解もあり増加した。地域の事業所協力員が熱心に取り組んでおり、民生委員児童委員連盟とも連携し、見守り体制を充実させた。		(目標達成度) 101.0%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	64,943	61,808	59,285	61,181
	(事業費)	54,465	51,270	51,565	53,461
	(職員人件費)	10,478	10,538	13,113	12,637

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】GPSを普及し電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。	見守り事業費	総額		51,565
		6,101千円	特定 財源	国	17,399
		認知症等行方不明高齢者家族支援事業費		県	8,699
		453千円		市債	0
		あんしん通報サービス事業費		他	10,399
		32,357千円	一般財源		15,068
12,654千円					
令和 7 年度	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】GPSを普及し電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。	見守り事業費	総額		53,461
		7,460千円	特定 財源	国	18,022
		認知症等行方不明高齢者家族支援事業費		県	9,009
		990千円		市債	0
		あんしん通報サービス事業費		他	10,776
		31,844千円	一般財源		15,654
13,167千円					

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	改善
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
特別あんしん見守り事業では、老人介護支援センター等の見守り訪問員により、効果的な安否確認や相談等ができています。あんしん通報サービス事業は、施設入所等により利用者が減少、配食見守り事業については、利用者数が増加しました。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
複合的に事業に取り組むことで、見守り体制の充実に取り組む。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高齢者住宅等安心確保事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携および各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。また、毎年1回、高齢者住宅等安心確保連絡協議会を開催し、生活援助員の質の向上に努めている。				
年度概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市高齢者住宅等安心確保事業実施要綱

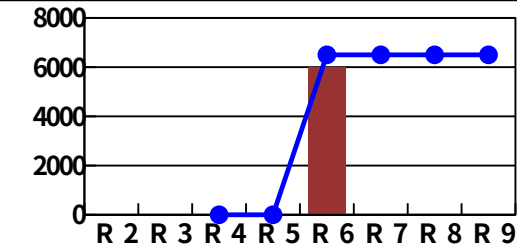
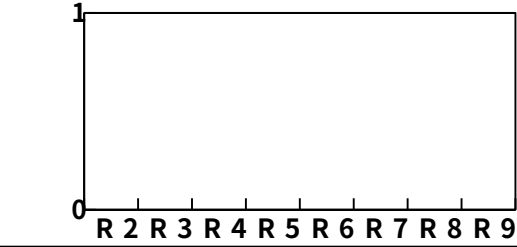
【事業の目的】

対象（何を）	シルバーハウジングの入居者
意図（どのような状態にしたいか）	シルバーハウジングの入居者が、自立して安全かつ快適な生活を営むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	生活援助員勤務日数	日	0	0	896	904	896
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	生活援助員への相談件数	件	目標値	0	0	6,500	6,500	6,500
			実績値	0	0	6,002		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	生活援助員による入居者への生活相談等を実施することにより、入居高齢者の安心を確保することができた。		(目標達成度) 92.3% (得点) 32点					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	千円]	20,346	20,524	19,237	19,516
(事業費)	千円]	8,372	8,481	6,885	7,164
(職員人件費)	千円]	11,974	12,043	12,352	12,352

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。	・ 高齢者住宅等安心確保事業委託料 生活援助員常駐（平日の日中）：社会福祉法人 緊急通報装置対応：警備保障会社 ・ 通信費（切手代）	総額	6,885	
			特定財源	国	2,560
				県	1,280
				市債	0
				他	1,765
			一般財源	1,280	
令和 7 年度	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。	・ 高齢者住宅等安心確保事業委託料 生活援助員常駐（平日の日中）：社会福祉法人 ※令和6年度から時間を短縮（8H→6H） 緊急通報装置対応：警備保障会社 ・ 通信費（切手代）	総額	7,164	
			特定財源	国	2,666
				県	1,333
				市債	0
				他	1,571
			一般財源	1,594	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高齢者世話付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。

地域包括ケアの観点から、高齢者の住宅を確保し、生活を支援する必要があるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	軽費老人ホーム事務費補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等の一部を補助する。				
年度概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費の一部を補助する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	軽費老人ホームの利用料等に係る取扱指針に

【事業の目的】

対象（何を）	軽費老人ホームの入所者及び入所希望者
意図（どのような状態にしたいか）	自立した日常生活を営むことについて不安を抱える高齢者が、収入に応じた低額な料金で、施設を利用できるようにすること。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	補助金を交付した施設数	施設	0	0	12	12	12
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)				R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	入所者実数				単位 人	目標値	0	536	536
						実績値	0	512	536
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	軽費老人ホームを運営している全施設に対して補助金を交付することにより、入所者が収入に応じた低額な料金で施設を利用できたことなどから、目標を概ね達成できた。				(目標達成度)				
					(得点)				
成果指標③	成果指標名 (どのような成果が得られたか)				R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
					単位	目標値			
						実績値			
成果指標④	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
					(目標達成度)				
					(得点)				

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	211,329	211,720	216,094	217,637
	(事業費)	199,355	199,677	202,970	204,513
	(職員人件費)	11,974	12,043	13,124	13,124

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費の一部を補助する。	補助額＝サービスに提供に要する費用－本人からの徴収	総額	202,970	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	202,970	
令和 7 年度	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費の一部を補助する。	補助額＝サービスに提供に要する費用－本人からの徴収	総額	204,513	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	204,513	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することで、自立した生活を営むことに不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
運営補助については、他自治体の動向等を勘案しながら適切な水準を維持し、効果的な事業の実施に努める。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	老人福祉施設整備支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	(1) 社会福祉法人が、老人福祉施設整備のため独立行政法人福祉医療機構から借入した償還に伴う利子に対し、高松市社会福祉法人助成条例に基づいた利率にて算出された額を同法人へ補助する。 (2) 老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。				
年度概要	老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市社会福祉法人助成条例 高松市社会福

【事業の目的】

対象（何を）	老人福祉施設を設置する社会福祉法人
意図（どのような状態にしたいか）	老人福祉施設の整備を促進し、入所者の生活環境の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	施設整備の募集・補助金の希望調査を行った回数	回	0	0	3	1	2
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																											
補助金により整備・改修が行われた老人福祉施設数	施設	目標値		0	0	3	1	2																											
		実績値		0	0	2																													
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><caption>Indicator 1 Achievement Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr></thead><tbody><tr><td>Target</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>Actual</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td></tr></tbody></table>				Year	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	Target	0	0	0	0	3	1	2	1	Actual	0	0	0	0	2	0	2	1
Year	R2	R3	R4	R5					R6	R7	R8	R9																							
Target	0	0	0	0					3	1	2	1																							
Actual	0	0	0	0	2	0	2	1																											
各補助事業について希望調査を通じて周知を図ったが、制度を活用して整備回収を希望する施設はなく、目標を達成することはできなかった。		(目標達成度)		66.7%																															
		(得点)		23点																															

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																											
		目標値																																	
		実績値																																	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><caption>Indicator 2 Achievement Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr></thead><tbody><tr><td>Target</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>Actual</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				Year	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	Target									Actual								
Year	R2	R3	R4	R5					R6	R7	R8	R9																							
Target																																			
Actual																																			
		(目標達成度)																																	
		(得点)																																	

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	14,862	222,238	13,481	13,237	
	(事業費)	[千円]	2,139	209,442	357	113
	(職員人件費)	[千円]	12,723	12,796	13,124	13,124

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 社会福祉法人が、老人福祉施設整備のため独立行政法人福祉医療機構から借入した償還に伴う利子に対し、高松市社会福祉法人助成条例に基づいた利率にて算出された額を同法人へ補助する。令和6年度をもって補助廃止。 (2) 老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。	(1) 年2%以内の利率。合併町分については、合併町が行っていた利子補給率(金額)を適用する。令和6年度をもって補助廃止 (2) 高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に定める額	総額	357	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	357				
令和 7 年度	老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。	高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に定める額	総額	113	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	113				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	70 / 100 (70 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

老人福祉施設整備に要する費用について、社会福祉法人に対し、補助金及び利子補給金を交付することにより、老人福祉施設の整備が促進され、入所者の生活の場を確保する効果があった。

(1) 平成15年4月1日に社会福祉法人助成条例施行規則を改正し、新規事業分については廃止しており、令和6年度をもって償還が終了したため、本事業のうち利子に対する補助は廃止となった。

(2) 高齢者保健福祉計画に沿った施設整備を進めるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	瓦町健康ステーション事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市瓦町健康ステーションにおいて、市民の「健康づくり」や「生きがいづくり」の事業を推進し、福祉の増進を図る。				
年度概要	瓦町FLAG8階IKODE瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

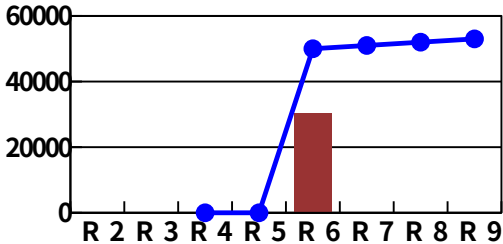
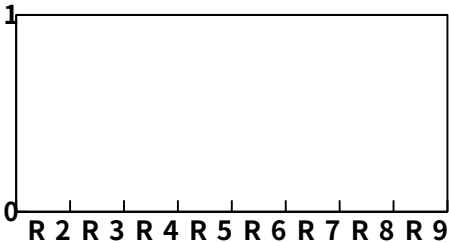
【事業の目的】

対象（何を）	高松市に居住する人
意図（どのような状態にしたいか）	市民の健康づくりの場として、誰もが利用しやすい環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	瓦町健康ステーションの開館日数	日	0	0	358	358	358
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	瓦町健康ステーションの年間来場者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	50,000 30,199	51,000	52,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	周辺施設のリニューアルや各年行事の開催がなかったことにより年間利用者数は減少し、目標達成できなかった。			(目標達成度) 60.4%				
				(得点) 21点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	敬老事業			

【事業全体概要】

事業概要	敬老の日前後に、各地域で長寿をお祝いする催しを開催する。100歳及び市内男女最高齢の方へ祝品、88歳の方へ祝品と市長直筆のメッセージカードを贈呈する。				
年度概要	88歳、100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	老人福祉法

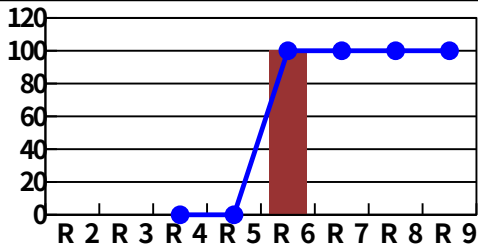
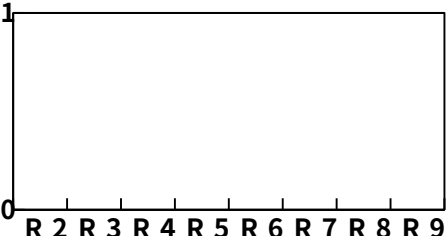
【事業の目的】

対象（何を）	高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	敬老祝品を贈呈することにより、高齢者の長寿と健康を祝うとともに、高齢者に対する敬意の意を表す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	敬老祝品贈呈件数	件	0	0	2,693	2,602	2,800
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	4 4 地域のうち敬老事業を実施した地域の割合	%	目標値 実績値	0 0	0 0	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	全地域で記念品等を配布しており、目標を達成できた。			(目標達成度)				
				100.0%				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	在宅高齢者家族支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。				
年度概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市高齢者短期入所事業実施要綱、高松市

【事業の目的】

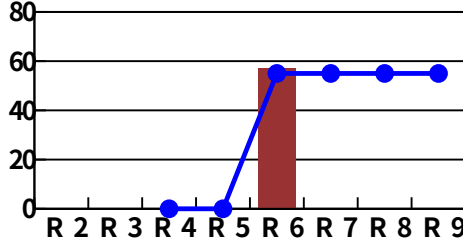
対象（何を）	介護保険要介護認定者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の保健衛生の向上と家族の介護の軽減を図る。

【事業の活動】

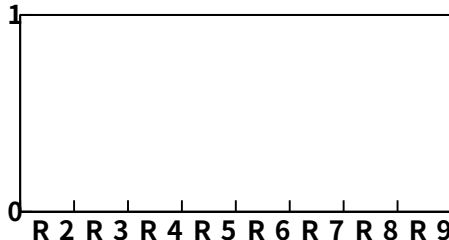
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給人数	人	0	0	724	744	760
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
在宅認定者率（要介護 4、5）	%	目標値 実績値	0 0	0 0	55 56.9	55	55
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
介護者に対する日常生活の負担軽減を図り、在宅での生活を支援したため、目標を概ね達成できた。		(目標達成度) 103.5%					
		(得点) 35点					

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値 実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)					
		(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	60,245	59,815	59,914	59,999	
	(事業費)	[千円]	45,277	44,761	42,930	44,559
	(職員人件費)	[千円]	14,968	15,054	16,984	15,440

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業、介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。	短期入所 4,344千円 介護見舞金 38,586千円	総額	42,930	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	42,930	
令和 7 年度	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業、介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。	短期入所 4,383千円 介護見舞金 40,176千円	総額	44,559	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	44,559	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

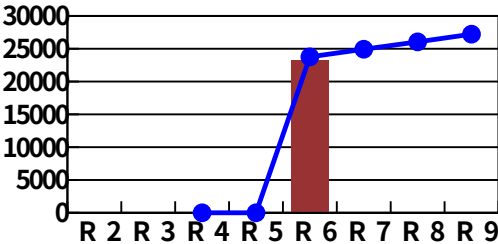
老人短期入所事業、介護見舞金支給事業ともに要件を的確につかみ、適正な実施に努めた。

在宅寝たきり高齢者等介護見舞金については、必要に応じて改善案を検討する必要がある。短期入所事業については、利用日数期間内に在宅支援準備を整えられるよう支援体制を検討する。

令和 年度（ 年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		寝たきり高齢者等支援事業			

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	紙おむつ給付登録者数	人	0	0	2,212	1,977	1,997
②							

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	紙おむつ給付延べ件数		件	目標値	0	0	23,763	24,925	26,047	
				実績値	0	0	23,232			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	紙おむつの給付により、在宅高齢者の日常生活を支援したため、概ね目標を達成できた。	(目標達成度)	97.8%							
(得点)		34点								
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
		(目標達成度)								
(得点)										

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	96,565	106,015	111,754	134,095	
	(事業費)	[千円]	89,081	98,488	102,490	124,831
	(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	9,264	9,264

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを定期的に対象者宅に配布する。	紙おむつ 102,490千円	総額	102,490	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	102,490
			一般財源	0	
令和 7 年度	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを定期的に対象者宅に配布する。	紙おむつ 124,831千円	総額	124,831	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	124,831
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
紙おむつ給付事業について、運送業界のドライバー不足に対応するため、配達方法の見直しを行い、迅速で正確な配達を継続した。年々紙おむつの給付対象者が増加しており、新たな給付内容の見直しを検討する。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
紙おむつの給付対象者が増加すると共に事業費も年々増加しており、新たな給付内容の見直しを検討する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	軽度生活援助事業			

【事業全体概要】

事業概要	在宅の一人暮らし高齢者等に対し生活を支援する者を派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。事業は、公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託して実施する。				
年度概要	シルバー人材センターに委託し65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市軽度生活援助事業実施要綱

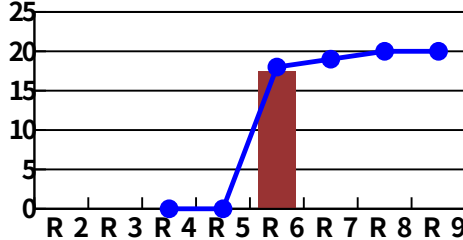
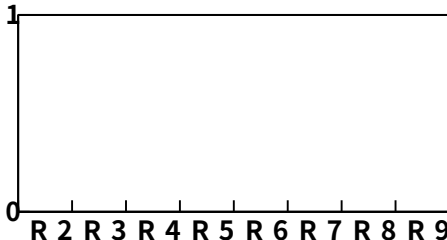
【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の一人暮らしの高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
①	軽度生活援助事業登録者数	件	0	0	1,525	1,600	1,600
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	軽度生活援助利用率		%	目標値	0	0	18	19	20	
				実績値	0	0	17.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	委託先の援助員数の減少等により、一部で利用までに待機者が発生しており、利用率が減少傾向にある。		(目標達成度) 97.2%							
(得点) 34点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	22,106	23,250	22,396	25,600
(事業費)	[千円]	19,112	20,239	19,308	22,512
(職員人件費)	[千円]	2,994	3,011	3,088	3,088

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	シルバー人材センターに委託し65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。	1人当たり月2回で1回につき3時間まで又は月3回で1回につき2時間まで。 委託料1時間当たり、 生活保護世帯1,104円 その他の世帯754円	総額	19,308	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	19,308	
令和 7 年度	シルバー人材センターに委託し65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。	1人当たり月2回で1回につき3時間まで又は月3回で1回につき2時間まで。 委託料1時間当たり、 生活保護世帯1,164円 その他の世帯814円 振込手数料相当額1件当たり171円	総額	22,512	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	22,512	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	改善
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
自立した生活の継続を可能とするともに要介護状態への進行を予防している。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
高齢者が経験と知識を生かし、生きがいを持って就業できるため、シルバー人材センターに委託しているが、今後、総合事業への移行や、利用者の利便性、受益者負担を考慮しながらサービス内容や利用料などの検討が必要である。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高齢者福祉タクシー助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	外出することが難しい在宅の高齢者からの申請により、年度内有効のタクシー助成券15枚を交付することにより、外出支援を図ることを目的とする。				
年度概要	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市高齢者福祉タクシー助成事業要綱

【事業の目的】

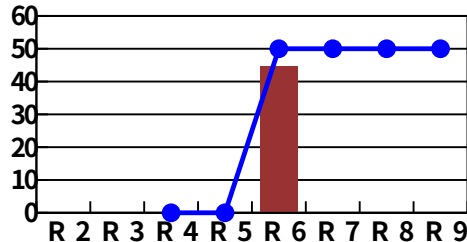
対象（何を）	外出することが難しい在宅で生活している高齢者で、要介護１～５の認定を受けている・本人及び配偶者の市民税が非課税である・一人暮らしまたは高齢者のみの世帯である等の要件を満たす者
意図（どのような状態にしたいか）	外出することが難しい、在宅で生活している高齢者の外出を支援する。

【事業の活動】

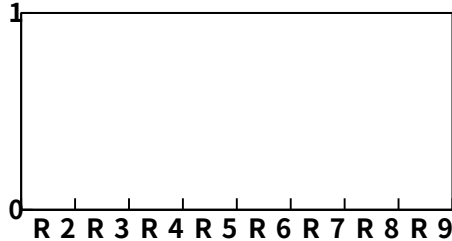
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	タクシー助成券交付者数	人	0	0	2,183	2,124	2,130
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
タクシー助成券利用率		%	目標値	0	0	50	50	50
			実績値	0	0	44.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
制度利用の周知を図ることで、概ね目標を達成することができた。			(目標達成度) 89.0%					
			(得点) 31点					

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	12,707	14,421	18,496	19,219
(事業費)	[千円]	8,965	10,657	10,776	11,499
(職員人件費)	[千円]	3,742	3,764	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。	扶助費 10,626千円 その他 150千円	総額	10,776	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,776	
令和 7 年度	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。	扶助費 11,266千円 その他 233千円	総額	11,499	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,499	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
高齢者の外出支援に、タクシー助成券は一定の役割を果たしている。昨年度に比べ利用人数は増加している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	老人クラブ活動助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	老人クラブが行う活動事業を補助する。				
年度概要	多年にわたり老人クラブ活動を積極的に推進したと認められ、高松市長感謝状贈呈該当者推薦基準を満たす者に対して、感謝状等を贈呈する。 高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブをサポート等する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費及び活動費の一部を補助する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	老人福祉法

【事業の目的】

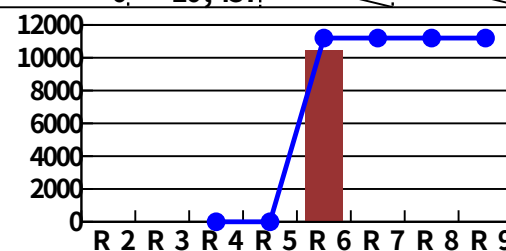
対象（何を）	市内居住 60 歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	補助金交付件数（単位クラブ）	件	0	0	216	225	225
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
老人クラブ会員数		人	目標値	0	0	11,200	11,200	11,200
			実績値	0	0	10,457		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
後継者不足等により、一部の老人クラブが解散したため、単位クラブ数、会員数は減少した。今後、地域の未加入高齢者に対して、老人クラブの活動内容を周知し、より一層、会員数の増加促進を行っていく必要がある。			(目標達成度)					
			(得点)					

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	30,811	29,825	28,815	30,224	
	(事業費)	[千円]	25,572	24,556	23,411	24,820
	(職員人件費)	[千円]	5,239	5,269	5,404	5,404

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	多年にわたり老人クラブ活動を積極的に推進したと認められ、高松市長感謝状贈呈該当者推薦基準を満たす者に対して、感謝状等を贈呈する。 高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブをサポート等する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費及び活動費の一部を補助する。	功労者記念品購入費 5千円 功労者丸筒等購入費 2千円 功労者感謝状筆耕料 18千円 単位老人クラブ活動助成金等 23,388千円	総額	23,411	
			特定財源	国	6,282
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	17,129	
令和 7 年度	多年にわたり老人クラブ活動を積極的に推進したと認められ、高松市長感謝状贈呈該当者推薦基準を満たす者に対して、感謝状等を贈呈する。 高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブをサポート等する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費及び活動費の一部を補助する。	功労者記念品購入費 10千円 功労者丸筒等購入費 3千円 功労者感謝状筆耕料 36千円 単位老人クラブ活動助成金等 24,771千円	総額	24,820	
			特定財源	国	6,567
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	18,253	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
後継者不足等により、単位クラブが解散するなど、クラブ数、会員数ともに減少したため、再度単位クラブの立ち上げを促すなど、働きかけが必要である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
高松市老人クラブ連合会とも連携しながら、老人クラブの活性化に向けた支援に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		シルバー人材センター運営補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。				
年度概要	市内に居住する60歳以上の正会員と、学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	シルバー人材センター運営補助金交付要綱

【事業の目的】

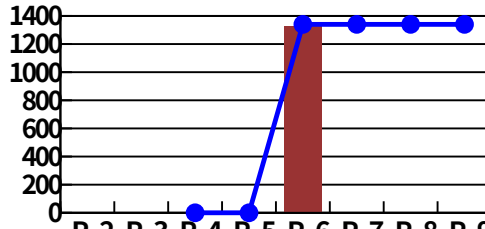
対象（何を）	市内に居住する 60 歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の就業機会を増大させ、生きがいつくりと社会活動への参加を促進する。

【事業の活動】

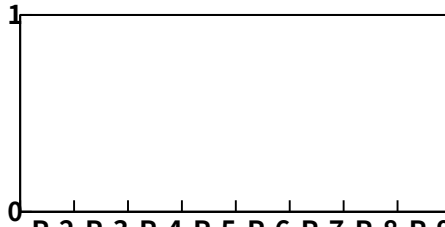
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	補助金交付件数	件	0	0	1	1	1
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
シルバー人材センター会員数		人	目標値	0	0	1,340	1,340	1,340	
			実績値	0	0	1,325			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
継続雇用制度の浸透や会員の高齢化などにより会員数が減少したため、目標を達成できなかった。			(目標達成度)	98.9%					
			(得点)						35点

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)						
			(得点)						

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	19,117	19,137	19,188	19,288	
	(事業費)	[千円]	16,872	16,879	16,872	16,972
	(職員人件費)	[千円]	2,245	2,258	2,316	2,316

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	市内に居住する60歳以上の正会員と、学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。	施設修繕料 0千円 香川県シルバー人材センター 連合会賛助会員会費 3口×10千円 全国シルバー人材センター事 業協会賛助会員会費 5口×10千円 シルバー人材センター運営補 助金16,792千円	総額	16,872	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,872	
令和 7 年度	市内に居住する60歳以上の正会員と、学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。	施設修繕料 100千円 香川県シルバー人材センター 連合会賛助会員会費 3口×10千円 全国シルバー人材センター事 業協会賛助会員会費 5口×10千円 シルバー人材センター運営補 助金16,792千円	総額	16,972	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,972	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
シルバー人材センターについての事業内容をより広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。高齢者の生きがいづくりや就労機会が多様化していることもあり、会員数の減少が続いている。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
引き続き、シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。また、実績報告等を精査し、補助金の適正執行に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	高齢者福祉施策推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。				
年度概要	第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。 さらに次期計画策定のための基礎調査を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	社会福祉法・高松市社会福祉審議会条例・老

【事業の目的】

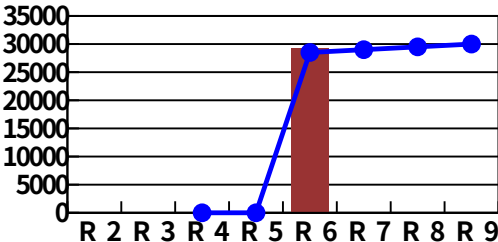
対象（何を）	65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるようにする。

【事業の活動】

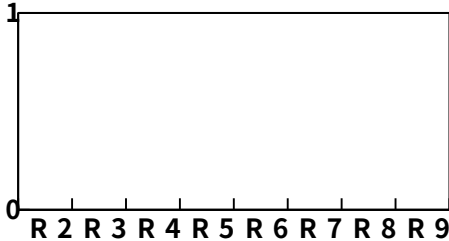
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	高齢者向けガイドブック発行部数	部	0	0	30,000	30,000	30,000
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
高齢者向けガイドブック配布部数		部	目標値	0	0	28,500	29,000	29,500
			実績値	0	0	29,209		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに高齢者福祉サービスについて広く周知し、目標を達成できた。			(目標達成度)	102.9%				
			(得点)					35点

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)					
			(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	58,255	54,278	60,790	65,674
(事業費)	[千円]	34,306	30,192	36,086	40,970
(職員人件費)	[千円]	23,949	24,086	24,704	24,704

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。	通信運搬費、運営協議会委員報酬費、事務費全般	総額	36,086	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	144
			一般財源	35,942	
令和 7 年度	第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。 さらに次期計画策定のための基礎調査を行う。	通信運搬費、運営協議会委員報酬費、委託料、事務費全般	総額	40,970	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,305
			一般財源	39,665	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

令和7年度は、第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに、次期計画策定のための基礎調査を行う。
また、市政出前ふれあいトークや高齢者のためのあんしんガイドブックの配布、高齢者の居場所づくり事業などの様々な機会を活用し、市民への周知も継続して行う。